

正副会長会議 報告書

□日時 令和 6 年 3 月 12 日（火） 10：00～11：50
□会場 さいたま市「すこやかプラザ」3階「団体交流室」

1 開 会

2 参加者 正副会長 5 名 牧野常務 吉田局長 眞矢 松尾 大塚

3 部会報告

(1) 研修部会

⇒2月26日相模原市への視察研修でマップやコミュニティソーシャルワーカーについて学んできた。研修の記録が部会長に届いており、広報誌への掲載に向けて現在調整を進めている。地域の方に還元することに向けて引き続き調整していく。

(2) 地区民児協支援部会

⇒県社会福祉課との意見交換会の報告は広報誌に掲載する予定である。①年齢の下限を撤廃したことの周知はどうなっているか②民生委員休暇については国の管轄との回答であったが若い方でも民生委員になれる手段はどのようにするのか③教育の中で民生委員の活動を啓発する方法について④欠員問題の解決に向けて県や市の職員が委員になることも考慮してもいいのではないかと⑤欠員地区への協力に対する活動費の支給について現員数支給となっているがどうか⑥地域で業を開く方々への民生委員委嘱の推進、の6点をベースに執筆した。

(3) 広報部会

⇒5月の発行については現在原稿を集めている段階。民生委員の日のラジオ放送について、今年の5月12日は日曜日のためスポンサー契約の都合により放送が難しい。できる限りを日曜日にするか、一斉にできる曜日でまとめるか選べるが、日曜日の視聴数が平日と比較すると多いため、広報の観点で出来る限り日曜日の放送ができるように調整していく。日曜日の放送が難しい局については事前広報できる日程で調整していく。

(4) 主任児童委員部会

⇒2月27日に分科会2が開催された。12月9日の主任児童委員制度創設30周年記念大会に向けて事業を進めていく。県大会との兼ね合いもあるため、発表の仕方や内容について検討を進め、来年度の事業に取り組んでいく。

4 協議事項

(1) 令和 6 年度事業計画・予算について

⇒案について説明した。

事業計画書

P1

牧野常務

「重点目標 1 については具体的な事業実施を予定しているのか、運営方針として取り扱うのが適切ではないか。」

藤崎副会長

「このフレーズは民生委員活動の本質であるから非常にいいと思う。運営方針とするかはやり方次第だと思う。」

志子田副会長

「運営方針は長期的な方針、重点目標は当該年度の具体的な目標という取り扱いであるなら、重点目標 1 は運営方針 1 の上に持つてくるべきではないか。」

P2

志子田副会長

「広報部会の民児協だより発行月は 6 月ではなく 5 月」

P3

藤崎副会長

「ブロック別市町村民児協会長連絡会議について令和 6 年度は実施する予定で問題ないが、令和 7 年度は関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会の開催のため 1 年ずらすことがあったため、忘れないようにしたい」

牧野常務

「令和 6 年度のブロック別テーマは前回の正副会長会議で決まっていたと思うから事業計画に入れて良いのではないか」

志子田副会長

「指定民児協の取扱いについて、過去やめた市町村があったような気がするかどうかどうなっているか。」

牧野常務

「補助対象にならないものは 0 清算してしまっているため、返金はされているが指定は継続している。」

牧野常務

「県外研修に理事会と評議員会がセットになっているが、前回の正副会長会議で理事会は日を改める旨決まっているためこの記載は改めた方が良くのではないか。」

藤崎副会長

「前回私もそのように報告している。」

P5

牧野常務

「共同募金事業において街頭募金活動や協力者の開拓については本会が委員に求めるのか、出来る限りではいいが具体的に明記することは望ましくないのではないか。」

藤崎副会長

「“街頭募金活動等、共同募金活動に協力する。” で良いのではないか。」

P3

牧野常務

「調査研究事業(1)①は事務局が本来やる調査であって、地区民児協支援部会でやるべきものではないと思う。」

藤崎副会長

「調査研究事業(1)①は埼玉県がアンケート調査を今年度実施したのだから、本会において個別に実施するのではなく、その調査待ちでいいのではないか。」

⇒P1 重点目標 1「誰もが安心して…」を運営方針 1 の上に追加する。

⇒P2 広報部会事業内民児協だより発行月を「6月」→「5月」に修正する。

⇒P3 ブロック別会長連絡会議のテーマを追記する。

⇒P3 調査研究事業(1)①は削除し、一斉改選後に実施する。

⇒P5「(1)…協議会に対して、街頭募金等、共同募金活動に協力を要請する。」

収支予算書

牧野常務

「内訳を報告する基準を定めた方がいい、100万円以上とするなど一定の基準を超えた増減のみ報告するので良いのではないか。」

吉田局長

「役員退職金の支出の合計が特定資産取得支出の予算額に入るべきところ入っていない。職員退職基金についても同様のミスがあるため修正させていただく。」

牧野常務

「当期収支差額以降は額に含まれているから金額に変更がないのではないか。」

吉田事務局長

「額としては計上されているため当期収支差額以降は問題ない。」

藤崎副会長

「収入と支出の比較をしたときに、1,000万以上の赤字となっているが通常は考えられない。実際は前年度繰越金の8,000万を活用しているため赤字収支ではない。予算は収入と支出が一致していないといけないから、本来は収入の中に前期繰越金を含んで計上するべきではないか。」

牧野常務

「本来は会費収入と県民児協支出が均等であるべきだが、支出していなかったため前期繰越金が貯まっている。今後会費について地区民児協支援部会にて話し合っていていただくと思うのでその点についてもご協議いただきたい。」

志子田副会長

「委託費の増について、県外研修や関東ブロックの出張が理由とのことだが、実際は旅費交通費だけ旅行会社に委託して実施しているから委託費に計上されているという理解で良いか。」

吉田局長

「相違ない。」

吉田局長

「印刷製本費から組織の実態調査分の支出がなくなるため 50 万円の減となる予定である。」

⇒理事会・評議員会では 100 万円以上の増減理由について説明する。

⇒特定資産取得支出の部の内容は理事会までに修正を行う。

⇒収入と支出は一致すること（赤字予算は作らない）。

⇒正しい金額に修正した文書は理事会にて正副会長含めご確認いただく。

(2) 令和 6 年度県外視察研修について

⇒案について説明した。

志子田副会長

「高速代を見ると JTB が一番細かく試算しており、企画の検討をしっかりとしている印象がある。また、ハワイアンズは視察研修としての宿泊先として適当ではないように感じる。値段は安いが県民児協の費用としての支出にはふさわしくないのではないか。」

寺田会長

「部屋割りが 4 人 1 部屋だと難しい部分もあるため、シングルルームで良いのではないか。」

牧野常務

「感染リスクも下げられるため良いのではないか。」

⇒JTB のいわきワシントン（シングル）案で調整を進める。

⇒視察先・交流会は会長一任とする。

(3) 令和 7 年度関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会について

⇒案について説明した。

芦澤副会長

「交通手段について案はあるか」

大塚主事

「会場・宿泊地等が確定してからの調整となるが、現時点での想定としては、熊谷駅→さくらめいと・さくらめいと→PARKWING・PARKWING→宿泊先・宿泊先→各分科会会場は本会手配を想定している。さくらめいとの最寄り駅である籠原駅→さくらめいととはさくらめいと運営団体側のシャトルバスを活用予定である。」

藤崎副会長

「企画案の中に実施日は追記してほしい。」

⇒案に日程を追記して実行委員会に提案する。

⇒記念講演・アトラクションは実行委員から案を集め正副委員長で決定する。

(4) 第 171 回評議員会に係る日時・場所、議題である事項について

⇒案について説明した。

⇒報告事項に県外視察研修を加えて理事会に提案。

5 報告事項

(1) 評議員の補充選任について

⇒杉戸町の評議員辞任ならびに補充選任について報告した。

志子田副会長

「大橋旧会長は広報部会であったが新会長の部会は広報部会でよいか。」

大塚主事

「市町村内引継ぎなので広報部会となる。」

(2) 任期満了に伴う役員選任・選定の手続きについて

⇒令和6年の任期満了に向けた3月の動きについて報告した。

(3) 民生委員・児童委員活動に関するアンケート調査について

⇒アンケート結果の進捗について報告した。

寺田会長

「市町村に結果がきたが、集計以上の中身がなかったという声もあった。県内62市町村の会長に対する説明と意見交換を実施するのはどうか。」

牧野常務

「県民児協として62市町村に依頼をして実施した事業であり、環境整備にむけたアンケート実施と理解していたが書面でも報告がないため、県民児協として会長名で意見交換の実施を依頼するのが適切ではないか。」

藤崎副会長

「部会として要請したもののアンケート結果しか出てこなかった。分析を県にしてもらう必要があるため県民児協として依頼するのが望ましいのではないか。」

志子田副会長

「このままだとアンケートのためのアンケートになってしまうため依頼して良いと思う。」

⇒会長名で依頼し62市町村会長との意見交換機を

(4) 次回開催および今後の予定について

日時：令和6年4月18日（木）13：30～

場所：彩の国すこやかプラザ3階 団体交流室1・2

⇒第184回理事会の実施日を6月4日とすることとした。

⇒5月正副会長会議は芦澤会長がご欠席であるが、予定日にて開催予定。

6 その他

松尾主事

「前回の正副会長会議において総務特別委員会にかける方針が決定されたが、

協議事項について現時点で検討中である。役員を選定要項と会計処理の 2 点が現時点で協議事項として挙げられているが、その他協議すべき事項に心当たりがあれば 4 月正副会長会議までにご提案いただきたい。」

7 閉 会